

新発見！ 考古速報2026

岐阜県発掘調査報告会

県文化財保護センターでは、県民の皆様へ、埋蔵文化財への理解と、ふるさと岐阜の歴史への関心を深めていただくことを目的に、毎年発掘調査報告会を開催しています。

今年度は、岐阜県の歴史を語る上で注目すべき発見となった2件の発掘調査成果を担当者が報告し、出土した遺物の展示を行います。このほか、令和6年能登半島地震に係り石川県に派遣された当センター職員が、文化財分野での復旧・復興に携わった経験をもとに能登における事例を紹介します。

令和8年 **10月24日(土)** 13:15～15:45
(受付12:45～)

会場 **岐阜県図書館** 1階 多目的ホール

入場無料

当日受付

(事前予約不要)



冬季は積雪の中分布調査を行いました

令和6年能登半島地震等に係る派遣報告

あきまつ だいすけ
秋松 大允(岐阜県文化財保護センター)

令和6年に発生した能登半島地震と奥能登豪雨は人々の生活だけでなく多くの文化財に甚大な被害をもたらしました。大災害による被害を受けた文化財をどのように救出するのか、復興にかかわる開発のなかでどのように保護するのか。令和7年度に派遣職員として復興に携わった経験をもとに能登における事例を紹介します。



最新の
発掘成果を報告！

野口町中世館跡 (各務原市)

みうら くんぺい
三浦 薫平(各務原市教育委員会)

野口町中世館跡は、戦国時代に築かれた1辺75mほどの方形居館で、敷地内の四方を囲い込むように土塁と外堀が築かれています。当時築かれた土塁と外堀は、極めて良好に残存しており、中世城館の規模を想像させる貴重な遺跡です。昨年度実施した発掘調査では、古代から中世、近世、近代に及ぶ痕跡が広く確認されており、さまざまな成果が得られました。



土塁と堀が良好に残っていました



江戸時代の基壇を確認しました

国史跡「中山道」落合宿本陣 (中津川市)

くまざき しんじ
熊崎 真司(中津川市文化スポーツ部)

中山道の重要な交通遺跡にして、江戸時代から明治時代の史跡・落合宿本陣の整備基本計画の策定に向け、基礎情報や歴史的変遷の確認を目的に発掘調査を実施しました。令和6年度から令和8年度の調査では、古絵図等を手掛かりとした明治時代遺構の調査を端緒に、絵図や記録にも残されていない江戸時代の遺構を発見するなどの成果が得られました。

お問い合わせ先

岐阜県文化財保護センター 調査課

TEL 058-237-8550 月～金曜日(祝日除) 9時～17時

FAX 058-237-8551

E-mail c21807@pref.gifu.lg.jp

主催 岐阜県文化財保護センター 共催 岐阜県図書館

